

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成 29 年 9 月 21 日 (2017.9.21)

【公開番号】特開 2017-137323 (P2017-137323A)

【公開日】平成 29 年 8 月 10 日 (2017.8.10)

【年通号数】公開・登録公報 2017-030

【出願番号】特願 2017-37462 (P2017-37462)

【国際特許分類】

C 0 7 D 403/12 (2006.01)

A 6 1 P 35/00 (2006.01)

A 6 1 K 31/53 (2006.01)

A 6 1 K 31/5377 (2006.01)

【F I】

C 0 7 D 403/12 C S P

A 6 1 P 35/00

A 6 1 K 31/53

A 6 1 K 31/5377

【手続補正書】

【提出日】平成 29 年 7 月 18 日 (2017.7.18)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

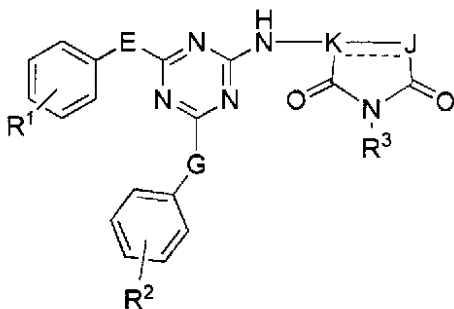
【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

式 1 の化合物又は薬学的に許容可能なその誘導体、塩、又は水和物。



式 1

(式 1 において、E 及び G はそれぞれ独立していずれかの配向の - NH - C₁ - 4 アルキル - であり、

は単結合を意味し、

が単結合である場合、K は N であり、J は CH₂ であり、

R¹ 及び R² はそれぞれ 0 ~ 2 個の置換基であり、各置換基は - C₁ - 4 アルキル、- OH、- O - C₁ - 4 アルキル、- N(R⁴)₂、- C₁ - 4 アルキル N(R⁴)₂、- NO₂、ハロゲン、及び CF₃ からなる群から独立して選択され、

各 R⁴ は H、- OH、- C₁ - 4 アルキル、- C(O)OC₁ - 4 アルキル、及び -

$C(O)R^5$ からなる群から独立して選択され、ただし一つの R^4 が $-OH$ である場合、もう一つの R^4 は $-OH$ であり得ない、又は、

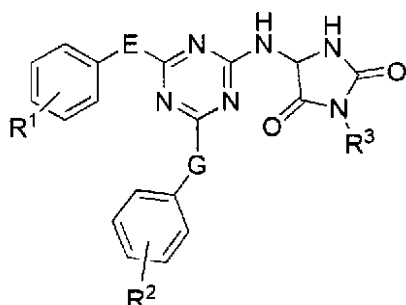
$-N(R^4)_2$ はピロリジニル基、ピペリジニル基、ピペラジニル基、又はモルホリノ基であり、随意的にはメチル基で置換され、

R^5 は $-C_{1-4}$ アルキル及びフェニルからなる群から選択され、及び

R^3 は、 $-H$ 、及び $-C_{1-4}$ アルキルからなる群から選択され、及び前記誘導体は、少なくとも1つの四級化された塩基性含窒素基又は少なくとも1つのエステル化された水酸基を含む。))

【請求項2】

請求項1に記載の式2の化合物又は薬学的に許容可能なその誘導体、塩、又は水和物。



式2

(式2において、E及びGはそれぞれ独立していずれかの配向の $-NH-C_{1-4}$ アルキル-であり、

R^1 及び R^2 はそれぞれ0~2個の置換基であり、各置換基は $-C_{1-4}$ アルキル、 $-OH$ 、 $-O-C_{1-4}$ アルキル、 $-N(R^4)_2$ 、 $-C_{1-4}$ アルキル $N(R^4)_2$ 、 $-NO_2$ 、ハロゲン、及び CF_3 からなる群から独立して選択され、

各 R^4 は H 、 $-OH$ 、 $-C_{1-4}$ アルキル、 $-C(O)OC_{1-4}$ アルキル、及び $-C(O)R^5$ からなる群から独立して選択され、ただし一つの R^4 が $-OH$ である場合、もう一つの R^4 は $-OH$ であり得ない、又は

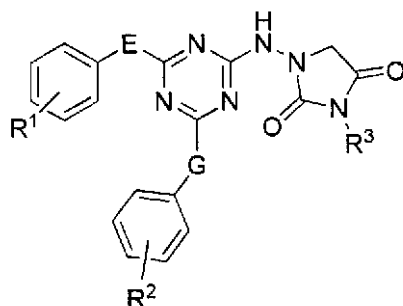
$N(R^4)_2$ はピロリジニル基、ピペリジニル基、ピペラジニル基、又はモルホリノ基であり、随意的にはメチル基で置換され、

R^5 は $-C_{1-4}$ アルキル及びフェニルからなる群から独立して選択され、

R^3 は、 H 、及びメチル基からなる群から選択される。))

【請求項3】

請求項1又は2に記載の式3の化合物又は薬学的に許容可能なその誘導体、塩、又は水和物。



式3

(式3において、E及びGはそれぞれ独立していずれかの配向の $-NH-C_{1-4}$ アルキル-であり、

R^1 は $-O-C_{1-4}$ アルキルであり、 R^2 は $-C_{1-4}$ アルキル NHR^4 であり、

R^4 はそれぞれ独立して - H であり、及び

R^3 は、H、及びメチル基からなる群から選択される。)

【請求項 4】

E 及び G のヘテロ原子が両方トリアジン環に結合する、請求項 1 から 3 のいずれかに記載の化合物。

【請求項 5】

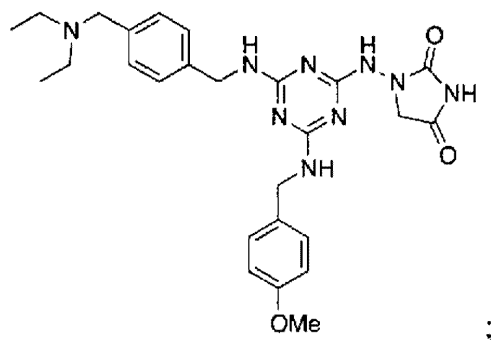
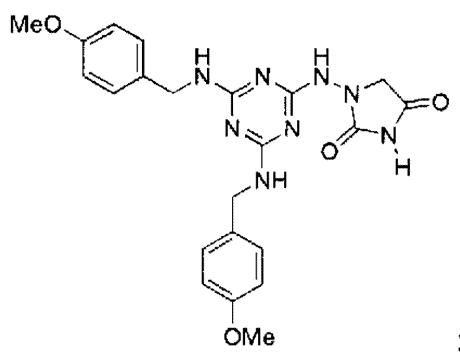
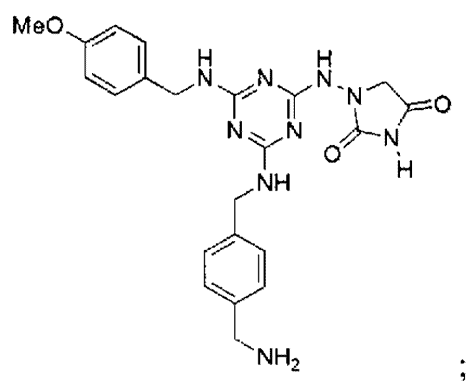
R^1 及び R^2 のそれぞれがパラ置換基である、請求項 1 から 4 のいずれかに記載の化合物。

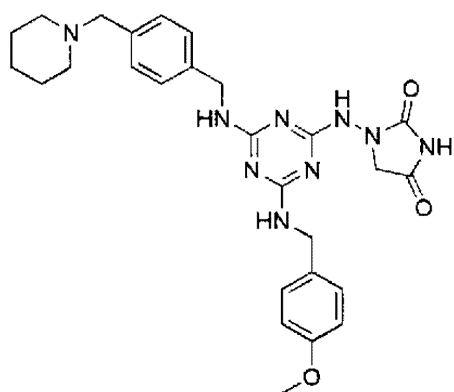
【請求項 6】

R^3 は H である、請求項 1 から 5 のいずれかに記載の化合物。

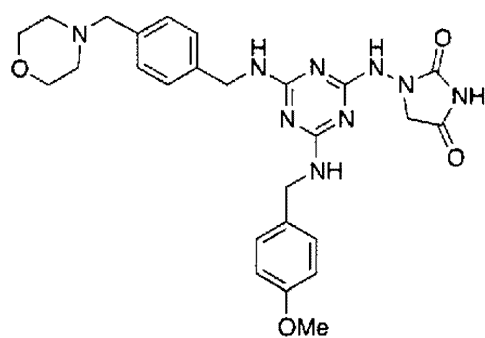
【請求項 7】

以下の式からなる群から選択される、請求項 1 に記載の化合物。

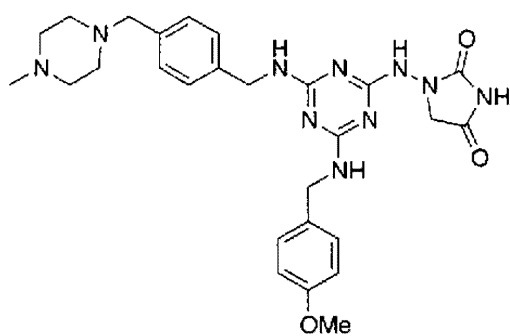




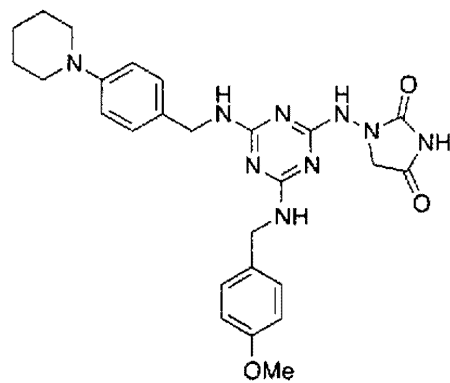
;



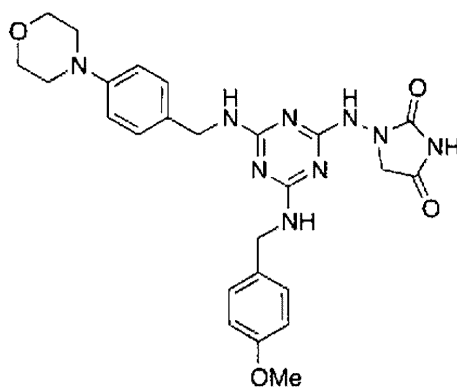
;



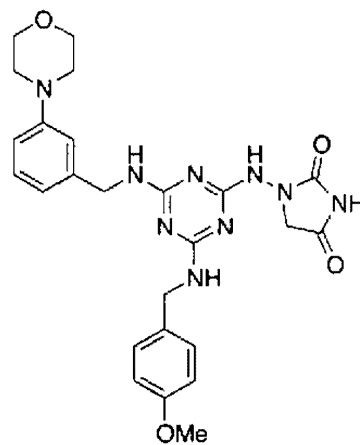
;



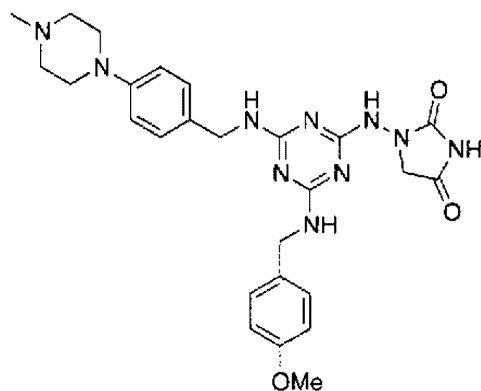
;



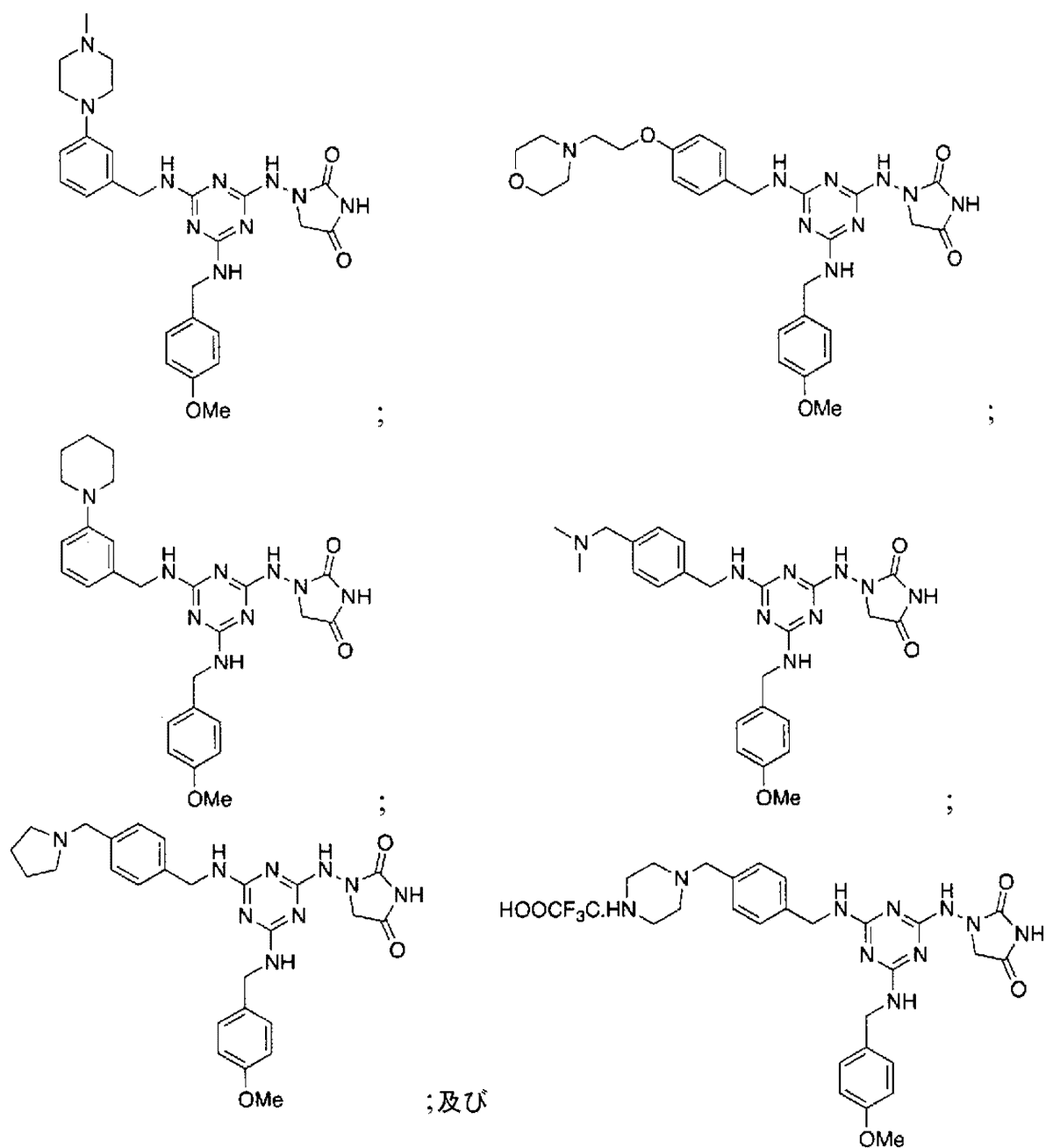
;



;

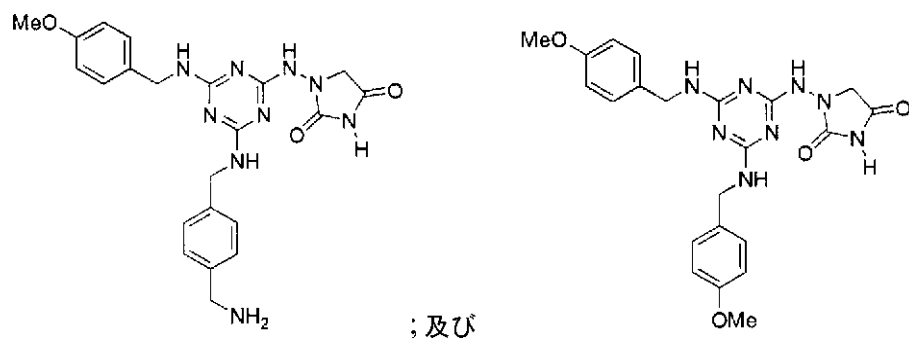


;



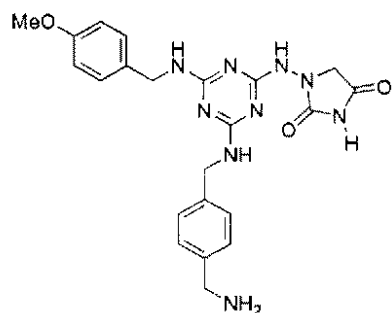
【請求項 8】

以下の式からなる群から選択される、請求項 1 又は 2 に記載の化合物。



【請求項 9】

請求項 1 から 8 のいずれかに記載の化合物であって、以下の式の化合物。



【請求項 10】

がん治療用の製剤であり、請求項 1 から 9 のいずれかに記載の化合物又は薬学的に許容可能なその誘導体、塩、若しくは水和物の有効な量を含む製剤。

【請求項 11】

前記がんは大腸がん、非小細胞肺がん、脳がん、又は乳がんである、請求項 10 に記載の製剤。

【請求項 12】

請求項 1 から 9 のいずれかに記載の化合物又は薬学的に許容可能なその誘導体、塩、又は水和物と、薬学的に許容可能な担体、希釈剤、又は賦形剤と、を含む医薬組成物。